

令和元年度 清原南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し、日本の伝統や文化を大切に、平和な国家の形成者として、21世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子どもを育成する。

たくましい子	元気に運動し、健康でたくましい心と体をつくる。
思いやりのある子	ルールやマナーを守り、協力して生活する。
よく学ぶ子	基礎・基本を身に付け、進んで学習する。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

恵まれた自然環境と、143年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち、子どもへの愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々と共に歩み、自らの資質を高め、教育目標達成のために全力を尽くす。

また、先人に感謝しつつ、母校への誇りと自分の尊厳を高めるような教育活動を展開し、子どもたちに「未来を拓く人間力」を身に付けるため、児童・教職員・保護者・地域が連携し「地域に開かれた信頼される学校づくり」・「清原地域学校園小中一貫教育」を推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 地域に開かれ地域と共にある学校づくりの推進
- (2) ○小中一貫教育の充実と教育活動の工夫・改善
- (3) 教職員の資質の向上と、高い指導力と確かな教育理念の体得
- (4) ○言語活動や読解力、表現力の育成
- (5) 根拠に基づく指導の推進
- (6) 教育的ニーズに対応し、全ての児童が所属感のもてる学校づくり
- (7) ○夢や希望をもって未来を生き抜く児童の育成
- (8) 教育の焦点化、ICTの活用、協働体制の確立による教育の効率化と教職員の働き方改革の推進

〔清原地域学校園教育ビジョン〕

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、同施行規則、新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「とちぎ教育振興ビジョン」、宇都宮市教育委員会の学校教育の重点「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」の示すところに従い、公教育の立場を堅持し本校の教育目標達成のため、調和と統一ある教育課程を編成する。
- (2) 人間性豊かな児童の育成を目指すために、各教科、特別な教科道德、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の有機的な関連を図り、各領域がそれぞれ充実した調和と統一ある教育課程を編成する。
- (3) 本年度の学校教育目標・学校経営の方針を踏まえ、児童の実態に応じた指導が計画的に行われるように考慮して編成する。
- (4) 「地域とともにある学校」作りを推進するため、地域の特性や願いをもとに児童に必要な資質・能力を明確にし、地域資源を活用して、社会に開かれた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○清原地区地域学校園構想と小中一貫教育としての取組を充実させ、体験活動や読書活動などを通して子どもたちの「生きる力」を育む。
- 【学 習 指 導】○ともに学び合いを楽しみ、自ら考え、問いをもって、仲間と一緒に進んで学び続ける児童の育成に努める。
- 【児 童 生 徒 指 導】○自他のよさを認め、主体的によりよい集団生活を送ろうとする児童の育成に努める。
- 【健康（体力・保健・食・安全）】○自ら積極的に運動し、健康でたくましい心と体をつくろうとする児童の育成に努める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 児童肯定的回答 80%以上	意欲的に取り組むような発問の工夫、教材の開発、学習形態等について、教職員同士で考えを提案し、実践する。 1 個に応じた作業プリントや教材等を工夫し、意欲的に授業に取り組むことができるようにする。 2 学習形態を工夫し、互いの考えを認め、学び合いができるように努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 児童肯定的回答 80%以上	学校活動全般を通して、思いやりの心を育てる教育活動の充実を図る。 1 道徳の授業を通して、学び合いを楽しみながら、仲間と一緒に進んで学び、親切・思いやりの心を育む。 2 読書活動（読み聞かせ・読書まつり）の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 児童肯定的回答 80%以上	児童情報交換会を活用して全職員が共通の認識をもちながら、さまざまな場で子どもにかかわり、それを児童情報交換会で報告する。 1 「清原地域学校園の方針・約束・一日」を積極的に活用する。 2 下校集合時にきまりやマナーについて全体に指導をする。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 児童肯定的回答 80%以上	元気にあいさつし、時と場に応じた言葉遣いを指導する。 1 年に2回、児童会主催のあいさつ運動を実施したり、月に1回、南部地区総ぐるみあいさつ運動を実施したりすることで、意識を高めていく。 2 あいさつの習慣化を主体的に図るため標語の募集やポスターの作成を児童会が中心になって行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 児童肯定的回答 80%以上	夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組む姿に対して、称賛・助言・励まし等の支援をし、意欲を高める。 1 持久走大会や各種検定において、より高い目標をもって練習に取り組めるよう支援する。 2 学期ごとに「学習・生活」のめあてを立て、学期末に振り返りをする事で、自分の努力の結果と向き合わせるようにし、さらにの意欲を高めるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活をしている。」 児童肯定的回答 80%以上	自分の体は自分で守ることの大切さを指導する。 1 体育の授業において運動量を十分に確保するとともに、運動の楽しさを実感できるようにし、意欲付けを図る。 2 養護教諭と連携し、保健の授業や学級指導の授業を充実させたり、保護者等への啓発を図ったりする。 3 各種たよりやお弁当の日などを通して、食の大切さを指導する。 4 朝会后や下校集合時に、交通安全や生活安全について全体指導をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 児童肯定的回答 80%以上	児童の発達段階に応じて、自分の夢や目標をもてるようにする。 1 <u>「清南ドリームプロジェクト」で「私の夢」を掲示し、意欲を高めるようにする。</u> 2 <u>宮・未来キャリア教育の充実を図り、自分のよさを生かして協力して働いたり、様々な職業や生き方についての理解を通して、将来についての夢をもてたりするよう指導する。</u>	
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 児童肯定的回答 80%以上	子どもたちが意欲的に英語に親しめるような環境づくりを行う。 1 ALTと交流する機会を多く持ち、会話をする機会を増やす。 2 図書資料や英語教材の充実を図る。 3 クラスルームイングリッシュを積極的に使用し、慣れ親しめるようにする。 4 英語担当教員とALTとの打ち合わせを行い、効果的な授業の展開を図る。	
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、宇都宮のよさを知っている。」 児童肯定的回答 80%以上	児童が宇都宮の良さを理解できるように指導する。 1 生活科や社会科の学習で、宇都宮の伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りを持てるような授業を実施する。 2 国語や学級活動の時間で、百人一首の学習を取り入れる。	
A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 児童肯定的回答 80%以上	児童の発達段階に応じて、ICT機器や図書等を活用した教育活動の充実を図る。 1 各教科等の学習において、パソコンや図書資料を活用した調べ学習を、情報教育年計に位置付け実践する。 2 学年の発達段階に応じて、ワープロやプレゼンテーションソフトを活用して「まとめる」学習を取り入れる。	

	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 児童肯定的回答 80%以上	教育活動全体を通して、高齢者とふれあう機会の充実を図る。 1 1年生活科の「昔遊び」、3年社会科の「七輪体験」等において、高齢者の方を学習ボランティアとして活用する。 2 「地域ふれあい給食」に地域の高齢者の方を招待し、交流を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。」 児童肯定的回答 80%以上	学校行事や学習指導において、「持続可能な社会」について学び、関心を持てるようにする。 1 教科や総合的な学習を通して、環境問題や防災等について学び、「持続可能な社会」についての意識を高める。 2 学校行事や委員会活動において、環境や資源を守るための取り組みを行い、「持続可能な社会」づくりへの参画をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B1 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値目標】 全体アンケート「児童は、宿題や自主学習をすることが習慣化されている。」 児童・保護者回答 80%以上	「<u>清原っ子家庭学習の約束</u>」により<u>家庭学習の習慣化を家庭と連携しながら推進する。</u> 1 授業参観や懇談、学習日よりなどを通じて、機会あるごとに保護者へ状況を知らせ、理解・協力を依頼する。 2 家庭学習に対して称賛・助言・励まし等の支援を適切に行い、児童の課題意識・意欲を高めるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は休み時間や放課後などに進んで運動している。」 児童肯定的回答 80%以上	進んで運動ができるような環境を整える。 1 縄跳びの自主的な練習のために、ジャンプ台を用意したり、鉄棒の学習カードを用意したりすることで、楽しく取り組めるようにする。 2 「<u>うつのみや元気っ子プロジェクト</u>」のミニマム達成をねらって、運動量の多い体育の授業を実践していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
目指す学校の	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童当の実態に応じて、適切な支援をしている。」 教職員肯定的回答 80%以上	一人一人の教育的ニーズを把握し、実態に応じた支援を実践する。 1 「生活目標」「<u>清原地域学校園の方針・約束・一日</u>」を積極的に活用し、生活規律・授業規律を整える。 2 分かりやすい授業の展開や個に応じた支援の方法を工夫する。 3 校内支援委員会等を活用し、支援を必要とする児童の把握や適切な支援について検討し、実践する。	【達成状況】 【次年度の方針】

姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 児童肯定的回答 80%以上	いじめの未然防止、早期発見及び早期解消のため、児童理解に努め、信頼関係を築く。 1 年2回の「いじめゼロ強調月間」では、児童会によるいじめゼロ集会や標語の募集、関連する道徳の授業を実施する。 2 日頃より児童の様子を観察するとともに、学級活動及び日常生活の中でいじめは許されない行為であることを継続的に指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 児童肯定的回答 80%以上	すべての児童にとって、自分の居場所となるような温かい雰囲気のある学級経営に努める。 1 「挨拶」「励まし」「称賛」等の声かけを実践する。 2 児童が主体的に活動する場面や活躍できる場面を設定する。 3 児童や保護者に積極的に関わりをもち、普段からの信頼関係づくりに努める。	【【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 教職員肯定的回答 80%以上	多様な教育的ニーズのへ対応強化を図る。 1 情報交換会を実施し、学校全体で特別な支援が必要な児童の共通理解を図る。 2 研修や校内支援委員会を通して、適切な支援の方針について知識や理解を深め、関係諸機関と連携しながら対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです。」 児童肯定的回答 80%以上	教職員は子どもの悩みを把握し、効果的に教育相談を実施したり、活気ある活動を充実したりする。 1 教育相談の充実及びQ—Uテストの活用により、児童同士の人間関係づくりに努力する。 2 学校行事や児童会活動・委員会活動において児童主体の活動を推進・工夫し、学校生活に潤いを与える。	【達成状況】 【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 児童肯定的回答 80%以上	発言やノートの記述等から、一人一人の学習状況を見取り、適切に支援するとともに、友達同士学び合う場を設定した授業を行う。 1 習熟度別学習等、個に応じた指導と学び合いの場面を設定する。 2 児童が学んだことを実感できる振り返りの場を設定し、授業改善に役立てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 教職員肯定的回答 80%以上	教職員と多様な専門性を有する学校スタッフが、自らの専門性を十分に発揮し、「チームとしての学校」の教育力を発揮できる体制をつくる。 1 教職員と多様な専門性を有する学校スタッフの間で、課題意識等の共有を進め学校におけるチームとしての取組を推進していく。 2 学年・ブロックの枠にとらわれないプロジェクトチームを設定し、OJTを充実させ、コミュニケーションの活性化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 教職員肯定的回答 80%以上	業務の改善を図るとともに、一人一人が勤務時間を意識することにより、働き方改革を推進する。 1 業務を見直し、精選するとともに、チームとして取り組むことで、負担の軽減を図る。 2 一人一人が退勤時刻を設定したり、学校・学年・ブロック等で月に2日程のリフレッシュデーを設定したりすることで、勤務時間を意識した働き方に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 児童・教職員肯定的回答 80%以上	学校園全体研修会や各部会等で研修に努め、充実した取組を行う。 1 中学校教員の6年生に対する乗入授業を通して、中学校の学習に対する明るい展望がもてるようにする。 2 学校園あいさつ運動により、中学生との交流を図り、コミュニケーション力を高めるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 児童肯定的回答 80%以上	学習ボランティア等を活用したり、農業体験等、地域の協力を得たりする教育活動を積極的に行う。 1 学習ボランティアを計画的に導入し、授業への参画を図る。 2 <u>地域協議会や清原地域学校園と連携を図り、外部人材の活用を推進する。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 児童肯定的回答 80%以上	積極的に情報を発信し、学校・児童についての相互理解を図りながら、協働して児童の育成に取り組む。 1 学校公開を積極的に行うとともに、学校・学年・学級だよりや各種通信、ホームページを通して定期的に情報を発信する。 2 企業等による出前授業や地域施設への見学等を教育活動に積極的に位置付ける。 3 清原南部地区総ぐるみあいさつ運動や見守り立哨指導等の実施により、児童の望ましい成長を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 教職員・保護者肯定的回答 80%以上	安全な学習環境の確保を図るため、施設・設備・器具・用具等の安全点検を実施し、結果に基づき維持管理や改善を図る。 1 月に一度、全教職員による安全点検を実施するとともに、生活当番の巡視の機会等を利用し、日常的な点検も充実させるようにする。 2 学校業務嘱託員や機動班と連携を図り、よりよい教育環境の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 児童肯定的回答 80%以上	学習に必要な図書を充実させるとともに、ＩＣＴ機器などの学習に必要な備品等を計画的に整備する。 1 図書選定委員会を開催し、学習資料として活用できる図書等を整備するとともに、学校図書館司書業務嘱託員と連携し、年間を通して計画的に図書資料を市立図書館から借りるようにする。 2 デジタル教科書をはじめ、ＩＣＴ機器を授業で積極的に活用する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B3 教師の授業力を高めるため、互いに授業を公開し、教師としての資質・能力の向上に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、校内研修を通して学び合い、自らの指導に生かしている。」 教職員肯定的回答 80%以上	全職員が授業を公開し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究を行う。 1 考えを深め合える授業研究会を目指した校内研修を行う。 2 話し合いの場を通して、同僚性を高める。 3 <u>地域学校園で連携を図り、研修を一層活性化する。</u>	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B4 本や地域、友達とのふれあいを通して人間関係を深め、心の豊かな児童を育成している。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、読み聞かせ・農園活動・登下校の見守りの時など地域の方とふれあうことは楽しい。」 児童肯定的回答 80%以上	1 本とのふれあい：朝の読書活動を充実するとともに、調べ学習を充実したものにする。 2 地域とのふれあい：<u>あいさつ運動や地域ボランティア、体験農園活動等を通して人間関係を深める。</u> 3 人とのふれあい：縦割り班活動や学校行事等を通し、リーダーシップ、思いやり、協調性などを育てる。 4 学習ボランティアの充実により、教育活動を豊かにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B5 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、地域の行事やボランティア活動に参加している。」 児童・地域肯定的回答 80%以上	学校と地域が連携協力して、児童を育成する環境づくりを推進する。 1 地域行事の情報を積極的に収集するとともに、児童への称賛・励まし等の支援を意図的に行い、意欲を高める。 2 必要に応じて教職員が、参加・協力することで、地域の方と顔の見える関係を築く。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。